



さんないまるやま つうしん

第 17 号

平成12年3月31日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1
TEL (017) 722-1111 (内5251・2)
FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡対策室 松原分室

〒030-0813 青森市松原1丁目14-11
TEL (017) 774-0455
FAX (017) 774-0456

三内丸山通信



今年度の発掘調査で見つかったたくさんの墓（白線で囲まれた部分）

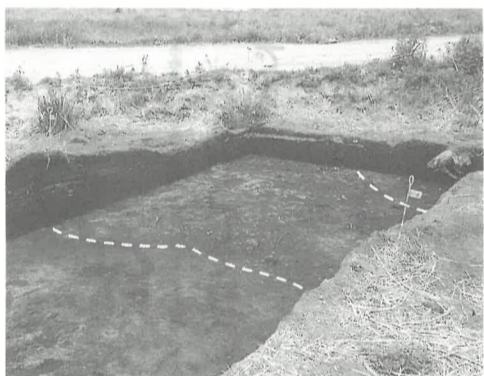
三内丸山この一年

―成果とまとめ―

平成一一年度も三内丸山遺跡では発掘調査や研究による新しい発見があり、またフォーラム・シンポジウム、イベントなど多くの情報発信を行いました。

発掘調査

発掘調査では、三地点の調査を行いました。その結果、昨年度見つかった南北の道路に沿って配置された円形に石を並べた環状配石が、やはり墓であることが確認されました。中には埋葬施設の一部と見られる炭化材が出土したものもあります。道路跡は南盛り土西側の掘立柱建物跡の間に続くことがほぼ確実となりました。これで東西に約四二〇m以上と南北に約一七〇



さらに延びることがわかった道路跡

特別研究

三内丸山遺跡をさらに詳しく解明するために、自然・技術・社会の分野で特別研究を進めました。共同研究は国立歴史民俗博物館、国立民族学博物館と三内丸山遺跡対策室とが行っています。公募研究は、研究テーマを全国から募集したもので、「クルミのDNA分析」（清川繁人さん）や「石製装身具の流通・交易経路の解明」（川崎保さん）、「漆文化の研究」（永嶋正春さん）について専門的な分析が進められました。



弓矢実験の1コマ

情報発信

縄文フォーラムを九月に弘前市で「縄文のまつり・祀り・祭り」というテーマで開きました。一月には東京で遺跡保存決定後の五年間の成果についてのシンポジウムを開きました。二月には雪ランドが行われ、雪像づくりや土器の復元体験などに、三日間で七千人の方々が冬の遺跡を訪れました。



東京シンポジウムでの遺物展示

これからの三内丸山

今年度も約三九万人の見学者が訪れました。縄文文化を身近に感じられ、楽しめる遺跡として、これからも整備や活用を積極的に進めて行く予定です。



冬だから楽しいのだ!

—三内丸山遺跡・雪ランド2000—

二月一日から二三日まで、冬の遺跡の魅力に触れてもらうことを目的に「三内丸山遺跡・雪ランド2000」を開催しました。

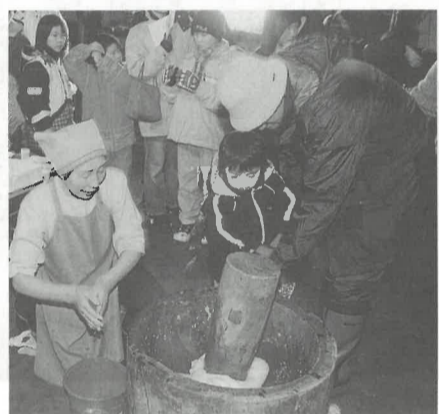
雪像作りやミニかまくら作りには多くの皆さんが参加し、作られた約六〇〇基のミニかまくらには夜に灯りがともされ、大型掘立柱建物などのライトアップとともに幻想的な姿を見せてくれました。



また、すべり台をはじめ、縄文クイズラリー、縄文ストラックアウトなどの雪上でのイベントのほか、大型竪穴住居内での餅つき、展示室内での体験学習など様々なイベントが実施され、期間中はたくさんの方々にぎわいました。

新メニューも好評でした —体験学習—

今年度の県主催の体験学習は、竪穴住居を造ったり、釣針や弓矢を使ってみたり、計二二回行われました。新メニューの勾玉作りなどが好評で、昨年度よりも百名以上多く、六〇〇名ほどの皆さんに縄文時代の生活にふれていただくことができました。



今年度の県主催の体験学習は、竪穴住居を造ったり、釣針や弓矢を使ってみたり、計二二回行われました。新メニューの勾玉作りなどが好評で、昨年度よりも百名以上多く、六〇〇名ほどの皆さんに縄文時代の生活にふれていただくことができました。

サンタイムズのなかまたち

土器はどうやってつくるの?



三月二四日に体験学習館で、平成一一年度第三回発掘調査委員会を開催しました。会議では、今年度の発掘調査の結果が、刊行された概要報告書をもとに検討され、あわせて特別研究の成果も報告されました。

発掘調査委員会



Q 柱はどうして残ったのですか
A 柱など有機質のもので、保存に適した状況の中では腐らずに残ることがあります。特に水の中では温度・湿度の変化が少なく、分解する微生物の活動もおさえられて、よく残ります。大きな建物では深い柱穴が掘られることが多く、柱

さくらももQ&A

下の部分が地下水に浸かった状態になることがあります。大型掘立柱建物跡の巨大なクリの柱もまた、水に守られて残ったものと考えられます。



遺跡報告会

三月二六日に県総合社会教育センターで、遺跡報告会と特別研究推進事業の報告会をあわせて開催しました。今年度の発掘調査の結果に加えて、海外関連遺跡調査の報告、特別研究の成果報告と盛りだくさんの内容でした。会場には大勢の人が訪れ、報告者の発表を聞きながら熱心にメモを取ったり、報告者に質問したりしていました。

情報展

展示室で今年度の発掘調査成果を展示しています。今年度は、環状配石墓をはじめとする様々な墓が見つかり、昨年見つかった道路跡もさらに延びることがわかりました。そこで、出土した遺物やパネルなどの展示を通して、発掘調査成果をわかりやすく解説しています。



出土した埋設土器

三内丸山遺跡の

ごあんない

- 見学時間 9:00~16:30 (入場は16:00まで)
- ボランティアガイド定時解説 9:00から一時間ごと(最終は15:30)
- 交通手段 市営バス 青森駅から運転免許センター行き 三内丸山遺跡前下車